2027年度　総合案内

N日能研 東海版

小学 2年〜6年



教室はすべて
通いやすい駅の前!

教室のご案内

授業見学や体験・ご相談など、
お気軽にお立ち寄りください。

名駅校
TEL：052(451)5601



金山校
TEL：052(990)2829



千種校
TEL：052(939)3281



本山校
TEL：052(789)0600



東山校
TEL：052(990)1515



一社校
TEL：052(760)1681



藤が丘校
TEL：052(760)0050



浄心校
TEL：052(508)6464



御器所校
TEL：052(859)1805



新瑞校
TEL：052(822)2277



植田校
TEL：052(800)5701



豊田校
TEL：0565(37)3481



刈谷校
TEL：0566(62)5781



岡崎校
TEL：0564(73)1221



勝川校
TEL：0568(37)2370



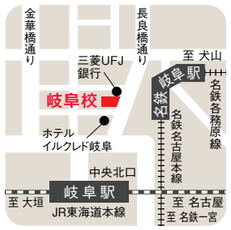
江南校
TEL：0587(50)5570



一宮校
TEL：0586(48)5485



岐阜校
TEL：058(269)1127



多治見校
TEL：0572(26)8662



小学生のみの中学受験予備校

N日能研

東海本部
〒461-0004　名古屋市東区葵3-24-2
第5オーシャンビル4F
http://www.nichinoken.co.jp

お問い合わせは
コチラから！▶▶▶

受験は、未来を見つける旅だ。

日能研で学ぶ、一生使えるチカラ。

激動する社会の中、未来を担う子どもたちの教育も従来とは異なり、知識や解き方の修得からさらに進めて「どんな資質や能力を身につけられるか」が問われる指導に様変わりしようとしています。かねてより私学が主張し、日能研が主張する「自らの意志による学び」に時代が重なりつつあります。













中学受験をきっかけに、一生使える学力をつける。

「まだ習ってないからわからない」という言葉を聞いたことはありませんか?

私たちはこの言葉に不安を感じます。それは私たち大人が日々直面する課題が「習ったことのない」問題の連続であるという実社会との距離を感じる一方、個性も能力も異なる子どもたちが、特に学習に関しては一律であることの不自然さを感じるからです。

私学の学びはこうした不自然さと一線を画す、「知らないことがあるから考え、学ぶのだ」という、学習本来の姿です。そして、この学習姿勢こそ、人生という長い旅を通じて学べる、子どもたちにとってかけがえのない手だてとなるのです。

「気持ちを動かす未知との出会い」を大切にします。

子ども時代を思い返せば、学びに限らず、旅行も、運動も、気持ちの動いた体験はずっと心に残っているはずです。日能研では「気持ちを動かす知識との出会い」を子どもたちの学びの大テーマとして大切にしています。疑い、気づき、発見、驚き、戸惑い、感動…。日能研の学びには、そんな気持ちの動きを常にともなうような〝出会いの瞬間〟があるのです。子どもたちが向かう未来は自分たちが何かを変えなければいけない、新しくつくり出さなければならないものになるはずです。この点で、体験的な学び（やってみる、使ってみる）という学びは、まさに未来に向けたアプローチと言えるでしょう。たとえば私学の入試問題に「分数を知らない子どもに $\frac{1}{4}+\frac{1}{3}$ を教えなさい」という問題があります。ここでは、分数という道具を持たない子どもの立場に立って、ケーキやリンゴの例でわかりやすく伝えるための気づきや工夫が求められます。「考えてやってみる・使ってみる→立ち止まって、ふり返る→自分は何をしたんだろう?どんなふうにしたんだろう?→こうすればもっとよくなるかな?→ともだちはそんなふうに考えたのか!」こうしたプロセスを重ねていくことで、一生使える学力を手に入れることができるのです。

そして体験的な学びには「意図して学ぶ」という行為が必要です。

ここで大切なのは、「自分が意図して学ぶ」ということ。それが自分がやろうとして行ったことだと自覚できれば、「これからどうしよう」を考え出すことができます。日能研は「子どもたちと知識との出会い方」という点に着目しました。「へぇ!?そうなんだ!」とか「うわぁ、すごいなぁ」とか。想像もつかないようなものなら「なんだ、こりゃ!?」とか。驚いたり、感動したり、戸惑ったりすることで「知識との出会いはひとつの体験」になります。「難しいなぁ」「どうしたらいいの?」という思いさえ、気持ちを動かし、学ぶことを楽しんでやろう、という姿勢が生まれてきます。たとえば日能研の3年予科教室の授業で使うテキストでは「自分自身で考える」で課題に挑戦したら、仲間や先生の話を聞いた後に「学んだことを使う」で身につけた力をチェック。楽しみながら「意図して学ぶ」行為が自然と身につく仕組みを盛り込んでいます。

知らないこととの出会いにワクワクできるたくましさを。

冒頭に述べたように、子どもたちがまだやったことがない、習っていない「未知」との出会いを恐れず、挑戦するための体験（思考技法＝知識と知識のつながりを獲得した学び）を得ていれば、それは好奇心を刺激する喜びになります。そしてこの喜び、学び体験こそ、未来を輝かせる最高の方法だと考えます。知識と出会い、自発的に「もっともっと考えたい!」というエネルギーがわいてくる。そうした姿勢は成長しても学び続けることのできる姿勢となります。「生の伴侶となる「学び」をこの時期に身につけることで、人生はもっと豊かな旅になる…知識との新鮮な出会いが、日能研の授業にはあります。

学ど伸びしろをどこまでも広げる学習プログラム。



旬の学びをつくるステージ制・系統学習

成長する子どもたちと寄り添っていたい。その時期その時期に最も必要な学び方をしてほしい。日能研では、小学2年生からステージ制がスタート。各ステージには、その期間で大切にしたい成長・成熟のテーマがあります。さらに6年生の後期には、入試直前ステージとして「合格」に特化したステージⅤがあります。だから、ステージⅣまで、子どもたちはのびのびと安心して「学び方を学ぶ」を思いっきりできます。また、ステージⅣまでの学びが豊かであればあるほど、受験生としてステージⅤで収穫できるものは大きいのです。



ステージⅠ 出会う

学びと共に仲間と「出会う」

後期 2〜3年生 前期

冬期講習 ◀ 夏期講習 ◀ 春期講習（3年生のみ）

予科教室



ステージⅡ 親しむ

未来につながる学び方に「親しむ」

後期 4年生 前期

冬期講習 ◀ 夏期講習 ◀ 春期講習

本科教室



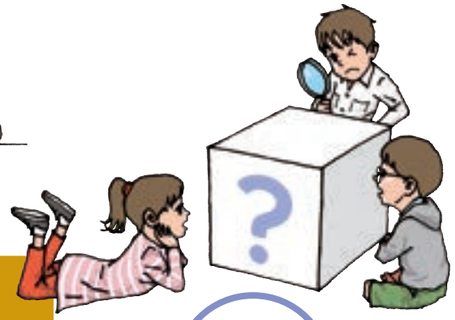
ステージⅢ 広げる

学び方の視点や知識を「広げる」

後期 5年生 前期

冬期講習 ◀ 夏期講習 ◀ 春期講習

本科教室



ステージⅣ 深める

自分の学び方や考え方を「深める」

後期 6年生 前期

合格力ファイナル ◀ 夏期講習 ◀ 春期講習

合格力完成教室 / 本科教室



ステージⅤ 鍛える

合格力を徹底的に「鍛える」

« 合格、そして進学へ

ずっと使える「考えるワザ」を学ぶための学習プロフィシエンシーシステム

日能研に通う子どもたちは、さまざまな方法で知識と出会います。「当たり前」と思われていることを疑ってみたり、先生から教わるのではなく自らの力で探求したり、既に身につけたいくつかの知識をつなげてみたり。私たちは、そうして新しい知識と出会うときに使っているチカラを〈思考技法〉と名づけました。

〈思考技法〉は、子どもたちがアタマを動かし、考えるときに使うワザのこと。これは一度獲得したら、いつでもどこでも取り出して使えるチカラです。他の分野や教科でも、ずっと使い続けていけるワザなので進学後も、大人になっても、学んでいく上で、生きていく上で、一生持ち続けられる〈持続可能学力〉となるのです。

子どもたちがそんな〈思考技法〉に熟達するために、日能研のステージⅡ・Ⅲ・Ⅳでは〈学習プロフィシエンシーシステム〉で系統立てて学びを進めていきます。プロフィシエンシー（proficiency）には「熟達・熟練」という意味があり、このシステムで目指す熟達モデルは、子どもたちが学ぶべき学習項目を素材（知識）として〈思考技法〉と結び付けて理解していく状態。つまり、単なる知識の詰め込みではなく、獲得した素材や〈思考技法〉の整理のしかた・活用のしかたを重視しているのです。〈思考技法〉に対する意識を獲得した子どもたちは次に、「素材」と〈思考技法〉を切り離し、自在に組み合わせることができるようになっていき、新しく出会った未知の「素材」でも、自分が持っている〈思考技法〉と結びつけられるチカラを育てていきます。その結果、初めて見る入試問題でも臆することなく、さまざまな視点で関係をとらえ、思考を広げて課題解決できるようになるのです。

このように日能研では、学びを通して、合格・進学後も将来にわたってずっと使えるチカラ、〈思考技法〉＝〈持続可能学力〉を携え、自ら学び進む人への道を歩む子どもたちを応援します。

Zクラス

4年生から受講できる特別クラス。**全国最難関校の合格**をめざす生徒を対象としています。

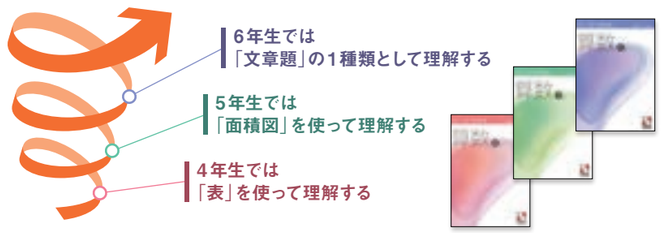
G講座

東海地区の難関校はもちろんのこと、全国の難関校の合格まで視野に入れた幅広い思考技法を身につける講座です。

●らせん構造の本科教室

学習プログラムがらせん構造になっていて、4年生で学んだことを5年生で、5年生で学んだことを6年生で、というふうに、解き方を変えて、レベルアップ。同じ内容を学年を経てさまざまな角度から繰り返して学んでいきます。

同じ単元の「つるかめ算」は



ステージ I

2・3年生

仲間といっしょに 学ぶ楽しさと出会う。



新しい知識と出会いながら、発想力を養っていく。

ステージIで子どもたちが出会うのは、学ぶ楽しさ。低学年のこの時期には、ひとつひとつの知識との出会いを大切にしてほしいと考えているため、知識の使い方を学ぶ系統学習はステージIIからとしています。

日能研では、ステージIを〈予科教室〉と位置づけ、本科教室につながる準備段階のプログラムをご用意しています。国語と算数の学習を通して学びの楽しさと出会い、真っすぐな学習意欲を育てます。

自由に考え、発想する感覚を養うことで「学ぶって、楽しい！おもしろい！」と感じ、自然と「もっと学びたい！」と学習意欲を高める1年間となるでしょう。

「考える」ことを通して、アタマとココロを動かす。

人生の中で「学び」の入口にあたる小学校低学年。本格的な「学び」が始まる前、子どもたちは自分と他者の違いをまだはっきりとは意識できていません。ですから、「自分で考える」と「仲間と考える」は表裏一体です。そのときに、ただひたすら「知識を詰め込む」「正解を写す」「問題を処理する」だったら？「考える」よりも「解く」だけだったら？アタマとココロを主体的に動かし続けるチカラは、とたんに弱まってしまうでしょう。だからこそ、中学入試に向けた学習が始まるその前に、この豊かな学びの時間を経験してほしいのです。

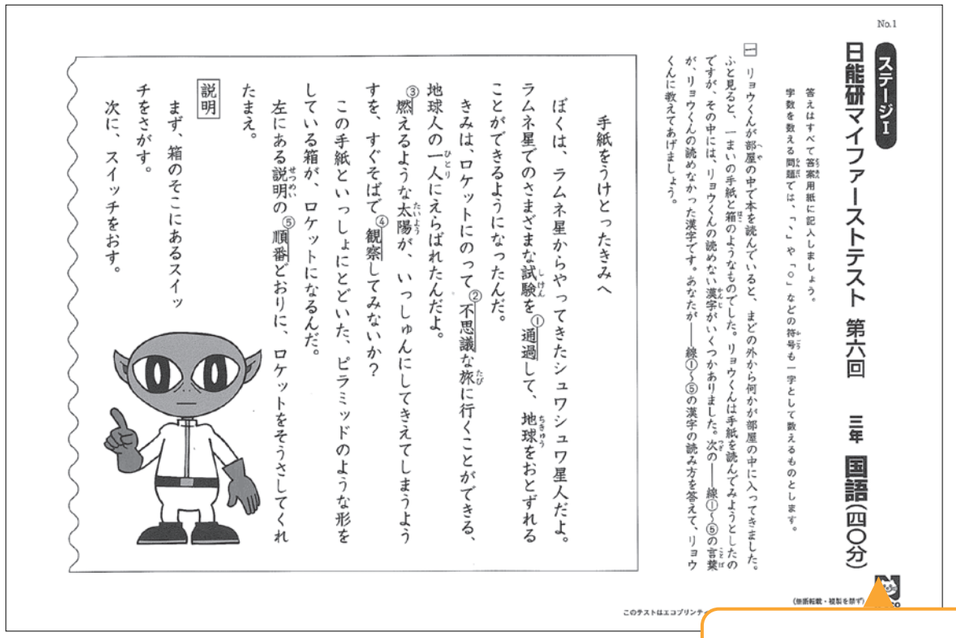
自分で知ろうとする。自分に問いかける。

日能研の低学年では、教科という枠組みよりも、自ら、または仲間と一緒に「考える」ことを大切にして豊かな学びを繰り広げています。自分の内側で自由に考えるチカラを育み続ける子どもたちは、中学入試に向けた学習の中でも受け身にならず、能動的に知識を取り入れることができる。だから、教科という枠組みの中で新しい知識に出会っても、鵜呑みにせず、「それって、なんで？」と自分に問いかける。答えまでの道筋が見えなくても、失敗を恐れずに「まずやってみる」の一歩を踏み出すことができます。

独自の答えを見つける。

答えが一つではない問いにも、自分なりの答えをつくることができる。このチカラは、「非認知能力」の向上にもつながる、一生使い続けていくことができる大切なチカラ。高学年へ、私学へ、大学（高等教育）へ、そして未来へつながる学びは、ここから始まっているのです。





No.1

ステージI

日能研マイファーストテスト 第六回 三年 国語（四〇分）

答えはすべて答案用紙に記入しましょう。
字数を数える問題では、「、」や「。」などの符号も一字として数えるものとします。

一 リョウくんが部屋の中で本を読んでいると、まどの外から何かが部屋の中に入ってきました。ふと見ると、一まいの手紙と箱のようなものでした。リョウくんは手紙を読んでみようとしたのですが、その中には、リョウくんの読めない漢字がいくつかありました。次の――線①～⑤の言葉が、リョウくんの読めなかった漢字です。あなたが――線①～⑤の漢字の読み方を答えて、リョウくんに教えてあげましょう。

手紙をうけとったきみへ

ぼくは、ラムネ星からやってきたシュワシュワ星人だよ。ラムネ星でのさまざまな試験を①通過して、地球をおとずれることができるようになったんだ。

きみは、ロケットにのって②不思議な旅に行くことができる、地球人の一人にえらばれたんだよ。

③燃えるような太陽が、いっしゅんにしてきえてしまうようすを、すぐそばで④観察してみないか？

この手紙といっしょにとどいた、ピラミッドのような形をしている箱が、ロケットになるんだ。

左にある説明の⑤順番どおりに、ロケットをそうさしてくれたまえ。

説明

まず、箱のそこにあるスイッチをさがす。

次に、スイッチをおす。

（無断転載・複製を禁ず）

このテストはエコプリン

●マイファーストテスト（3年生）

子どもたち自身が「どんなふうに考えるか」と向き合うテストです。「自分ならこう考える」にたくさんチャレンジし、初めて出会う問題に、自分ひとりで考えて、表現してほしい。だから毎回毎回が、自分にとって初めての“マイ ファースト”テストになるのです。



●ふり返りハンドブック（2・3年生）

毎授業ごと、または毎月、「授業での自分の様子はどうだったか」「家庭学習のとり組み方はどうだったか」などを、その時の気持ちとともにふり返ってハンドブックに記入します。そして、ふり返りをふまえて、これからどうすればよいかを考えていきます。

低学年から日能研を始めるメリットは？

この時期、子どもたちは「自分にだけわかる世界」から抜け出し、「誰かとわかり合える世界」を少しずつ共有できるようになります。そんな学びの大転換期、子どもたちには「仲間との学び」に出会ってほしい。「なぜ?」という身近な「?」について自分で考え、思いついたことを他者に伝える。「自分以外の人＝他者」を区別し始める時期だからこそ、低学年から始める日能研には、自分自身の世界を最大限に広げるためのチャンスが待っています。

低学年の学びとは？

未来を描けるチカラ。世界へつながる学び。日能研の低学年では、「自分で考える・仲間と考える」ことを大切にした豊かな学びを繰り広げています。



Ⅰ ステージ

4年生〈前期〉

系統学習で、ずっと使える「学び方」に親しむ。

ステージⅡからは、学んだ知識そのものよりも「どのように学ぶか」に目を向け、進学後や社会に出ても役立つ、自ら考え学び続ける力を育てます。

授業や家庭での学びを通して、興味を深め、考えを広げ、学びに主体的に向き合う「自分の学び」を築いていきます。



● ステージⅡ：各教科の学習テーマ

国語　必要な情報を読み解く力をつける

多くの情報から重要な点を見抜く力を、物語文や説明文の読解を通して身につけます。

算数　計算の「意味」を考えて答えを導き出す

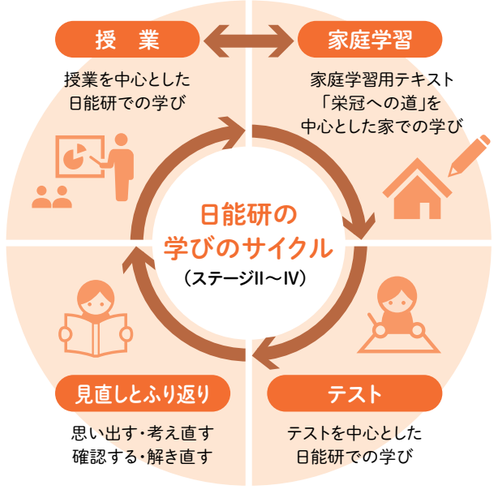
計算の仕組みや意味を理解し、図形や求積を通して論理的に考える力を養います。

理科　「特徴をとらえる目」を身につける

共通点や違いに着目して考え、資料やグラフから変化や規則性を読み取る力を養います。

社会　日本の自然と地形について知る

地図や資料を用いて、日本の自然や産業の特色と、その理由まで考える力を養います。



Ⅱ ステージ

4年生〈後期〉
5年生〈前期〉

いろいろな学び方にチャレンジ！視点や知識を広げる。

ステージⅡを経て日能研での学びに慣れた子どもたちは、自分なりの自信と学び方を持つようになっていきます。

ステージⅢでは、さらに新しいいろいろな学び方にチャレンジし、「こうしたい！」という想いを形にしながら、自分らしい学びを主体的に広げていきます。



● ステージⅢ：各教科の学習テーマ

国語　文章の「行間を読み解く」技を身につける

筆者の考えや人物の心情を捉え、文章全体の構造を意識して読み解きます。

算数　与えられた情報の使い方、アプローチの仕方を考える

図や式で関係を整理し、条件を踏まえて論理的に考える力を養います。

理科　原因の究明・考察の方向性を身につける

実験や観察を通して法則を理解し、根拠をもとに考える力を養います。

社会　資料からわかる背景や理由を読み解く

資料や統計から特徴を読み取り、日本のくらしとの関係を考えます。

わかる！を実感できる

習熟度別クラス

日能研では、テスト結果に基づいて定期的にクラス替えを実施。クラス内での習熟度の差を小さくすることで授業では毎回「わかる！」を実感でき、子どもたちのモチベーションを高く維持することができます。良き仲間たちとのシナジーが生まれ、お互いに刺激し合いながらぐんぐん成長できる環境です。

開講クラス	**2・3年生**：Aクラス **4〜6年生**：Mクラス（選抜クラス）、Aクラス
クラス替え	**4・5年生**：2か月に1回　**6年生**：毎月
1教室あたり人数	約25名

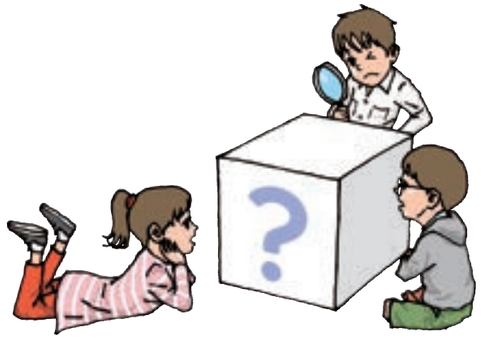
Ⅳ ステージ

5年生〈後期〉
6年生〈前期〉

知識を自由に使いこなして学び方や考え方を深める。

ステージⅣの1年間は、これまでの学び方をより深く追求していくとき。思考技法をより深く追求していくとき。思考技法を深め、いろいろな考え方を組み合わせたり、状況に応じて組み替えたりと、思いのままに使いこなすことを目指します。

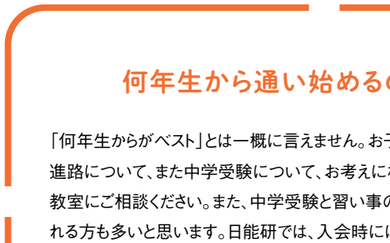
さらに、自由な考えから生み出される表現がお互いの良い刺激となり、磨かれ合って子どもたちは成長していきます。



● ステージⅣ：各教科の学習テーマ

国語　文章全体の要旨や情報の構造を読み解く

部分と全体のつながりや、情報の中にある意図・工夫された表現方法などのとらえ方を学びます。そして、情報を構成する部分どうしの関係から、情報の論理展開をとらえ、全体像や情報の中心の把握方法を学びます。また、これまで学んだことをもとに、長文の中で提示されている「情報の構造をとらえる」ことを学びます。



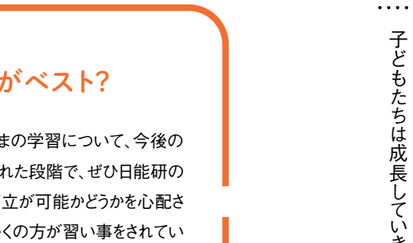
理科　知識と情報を組み合わせて活用する

「情報を読み取り、利用する」ことを、電流・てこなどの力のつり合い、水溶液や音、光などの物質の性質、大地の変化や天体の動きを通して学んでいきます。さらに、各単元で身につけた知識との関連を考えながら読み取ったデータを活用できるようにします。



算数　「比」という新たな考え方を手に入れる

数量を抽象化、簡略化してとらえやすくするための道具となる「比」がメインのテーマとなります。比そのものの概念を学び、すでに学んだ内容を、比を利用した解き方を考えます。また、立体図形を使って着眼点を変えることを試みていきます。



社会　地・歴・公バランスよく学ぶ

原因と結果の関係に目を向けて、歴史上のさまざまな変化やできごとをとらえていきます。ステージの後半になると、地理分野と歴史分野の知識をまとめ直し、整理します。公民分野では、日本の政治のしくみや働きを理解します。

何年生から通い始めるのがベスト？

「何年生からがベスト」とは一概に言えません。お子さまの学習について、今後の進路について、また中学受験について、お考えになられた段階で、ぜひ日能研の教室にご相談ください。また、中学受験と習い事の両立が可能かどうかを心配される方も多いと思います。日能研では、入会時には多くの方が習い事をされていますし、6年生の入試時期まで習い事やスポーツを続けながら中学受験にチャレンジし、進学されるケースもあります。私たちは、それぞれのご家庭の状況に応じて、その時々で何が最良の選択かを一緒に考え、ご提案させていただきます。

ステージ V

6年生〈後期〉

合格力を徹底的に鍛える。

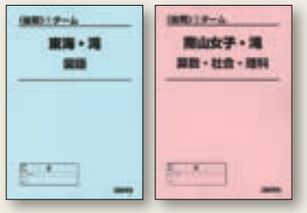


志望校へピンポイントで狙い打ち

お子さまの志望校に特化した最後の対策授業です。志望校別のテストを使用し、実力を100%発揮できる態勢を整えます。

● 志望校別対策

＜対象校＞東海、南山男子部、名古屋、愛知、滝、南山女子部、愛知淑徳、金城学院、椙山女学園、海陽、高田、鷲谷など



得点力アップで志望校合格に近づく「志望校別日特」

通常の授業とは別枠で日曜日に開催。志望校にターゲットを絞って、時間配分や解答の優先順位のつけ方など、具体的なポイントを身につけます。

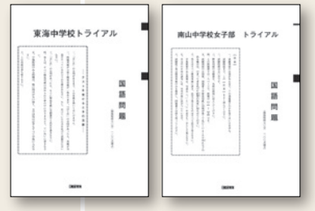
● 合格力育成テスト・合格力実践テスト（9月～12月）

これまでに培った知識・技術を得点力に換えるテストです。問題は、記述に特化した「難問」とオールマイティに対応した「総合」となります。



● トップ私立中学校別トライアル（11月）

愛知県内の最難関校を目指す受験生のための「入試そっくりテスト」。過去の入試問題の傾向を分析して出題されます。
〈対象校〉滝、東海、南山女子部



合格・進学

志望校別対策 ← → 日特（日能研入試問題研究特別講座）

入試問題に強くなろう 合格力ファイナル ← → 自分の志望校や到達度にあわせて学ぶ 合格力完成教室

● ファイナル 2（冬期講習）

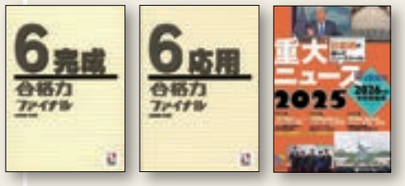
国語・算数・理科は最重要分野の演習、社会は時事問題対策として『重大ニュース』を使った演習で答案作成力を磨きます。

● ファイナル 3（直前講習）

入試本番をイメージし、時間設定をして予想問題に取り組みます。全国難関校の最新の入試傾向も参考に各科目分野別に最終チェック!

● ファイナル 1（12月～）

入試本番で出題されるさまざまな問題形式のテストで、効率よく得点を積み重ねるためのテスト戦略を磨きます。「ファイナルチェック」では入試頻出分野を最終確認。残り1か月の課題を明確にします。



入試（1-2月）

目標・計画・実行を確実にサポートするプログラム

ステージⅣまでに培った学力に得点力を加え、合格力を鍛えます。答えや式だけでなく、考えたプロセスの表現が問われる最近の入試にも対応できる力を磨きます。

● ステージVテキスト

日能研の合格テクノロジーを結集し、質・量ともに充実の内容です。



● メモリーチェック（家庭学習用教材）

社会・理科の知識を「どこまで自分で使いこなせているか」を確認するテキストです。



9月 10月 11月 12月 1月 2月

はっきりした目標に向けて、自分をとことん伸ばす半年間。

6年生の2月からスタートしている日特（日能研入試問題研究特別講座）は、夏期講習が終了すると、いよいよ志望校合格を勝ち取るための学びへと変わります。

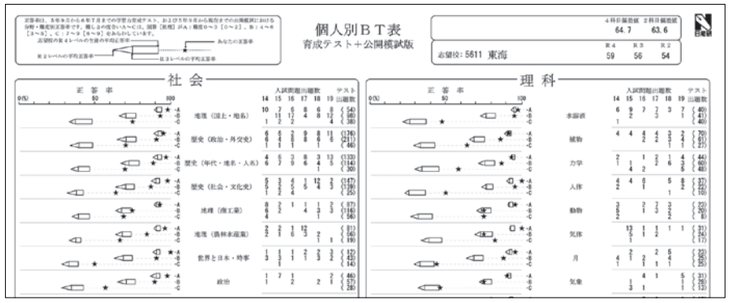
ここからは、子どもたちが入試本番で学力を活かしきる「合格力」の完成が最大のテーマ。ステージⅣまでの系統学習に代わって、ステージVで初めて子どもたちは「目標達成」に向かってギアを入れ替え、大人たちが驚くようなスピードで成長していきます。

出願準備などで、保護者の方にとってもあっという間の半年間。「豊かな合格」に向けてのラストスパートを、みんなで走り抜けましょう。



● 入試問題を分野と難度で個別クリニック「個人別BT表」

志望校の入試問題や子どもたちの学びの状況を「分野」「難度」の面から見ることができるデータです。同じ志望校を目指す仲間たちと比べることで「どの分野の、どのくらいの難度の問題を強化していくべきか」という合格のための課題を見つけることができ、計画と実行をより具体的にするための成績表です。



教務スタッフそれぞれが1教科専門のエキスパート。

受験への旅を「対話型授業」で リードします。











国語、算数、社会、理科
それぞれの教務スタッフ ＋ クラス担当 で 構成されるシラバスチーム

日能研では各教室の全クラスに、クラス担当と授業担当者4名からなるシラバスチームを組織しています。授業の設計図であるシラバスをもとに、常に連携を取りながら「ひとりひとりに今何が必要か」を考え、実践しています。

全員わかりやすさのプロ。私たちが徹底指導します。

私たち日能研の教務スタッフは、全員が1教科専門のプロ講師。アルバイト講師はひとりもいません。担当教科のスペシャリストとして、子どもたちのための「わかりやすさのプロ」と認められた者だけが教壇に立つことができるのです。

同時に私たちは、子どもたちの学びの空間をつくる仕掛け人でもあると自負しています。個も集団も大切にした場づくり、子どもたちの「考える」が動き出す投げかけ、子ども同士のイキイキとしたやり取りが生まれるような働きかけ、授業のふり返りを促す声かけなど、さまざまな手段で子どもたちの学びをサポートします。「一方的に「教える」のではなく、子どもたちの「体験的学び」を日能研で育んでいただき、お子さまを志望校合格へと導きます。

どこまでも対話型授業。一方通行は行いません。

先生の話を静かに聞く。テキストに書いてあることを読む。黒板に書いてあることをきれいに写す。これが「一般的な「授業」のイメージかもしれません。

しかし、日能研ではそうした一方通行の授業は行いません。大切なのは、仲間や講師から多くの刺激を受けること。たくさん考えて、発見して、表現する。アタマ・コココロ・カラダをめいっぱい動かす授業です。

授業が終わると「楽しかった！」「おもしろかった！」「いっぱい考えて頭が疲れた！」という子どもたちの声が聞こえてきます。



教室の先輩がみんなの相談役（ピアサポーター）

子どもたちの家庭学習のノートをチェックします。疑問点などがあれば授業担当者と共有し、ただちに対応することも。他にも、テスト監督や机や椅子の消毒など子どもたちを近くで見守る存在。日能研のOB・OGも多く在籍しています。

N生の1日（日能研生）



〈質問〉

質問に来る子どもが多いのは授業後。授業で学んだ内容をすぐに確認する子や、家庭学習で出てきた疑問を聞きに来る子もいます。他にも学習方法や苦手な分野の克服法などを相談する子どもも。教務スタッフは、ただ質問に答えるだけでなく、次はどのように学んだらよいかを子ども自身が考えられるようにアドバイスしています。



〈自習〉

授業の前後に自習している子どもが多いですが、開校日なら授業のない日でも自習場所を用意しています。



〈授業〉

演習中は緊張感のある雰囲気で、メモを取りながら解説を聞く姿勢は真剣そのもの。それぞれの考えを発表するときには一転してにぎやかになることもあります。



〈授業〉

休憩後は再び授業に集中しましょう。

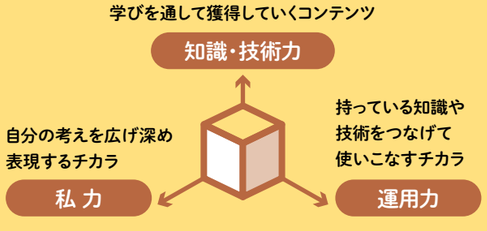


〈食事〉

5年生からは授業の合間に軽食をとる休憩時間があります。お弁当が一番のリラックスタイム。

学力をどこまでも伸ばす 日能研の3軸モデル

私たちは私学へつながる学びを通して、未来をつくるチカラ、子どもたちと共につくりたい学力のモデル図を、3本の軸で表すことができると考えました。私学へ、その先の大学（高等教育）へ、さらにその先の未来へ。生涯にわたって使い続けることのできるチカラ＝〈持続可能学力〉が、この3つの力で構成されていると考えます。



考えることが、どんどん楽しくなる。
発見と驚きが詰まった テキスト&テスト体系。

2つのテキストで 驚きと追体験を

子どもたちにとって授業は、「自分の学びを仲間と共につくる場」。
知識と初めて出会い、ワクワクドキドキにつながる体験です。
日能研ではステージごとに、授業で使用する〈授業用テキスト〉と、
自分一人で「学び直し」をするための〈家庭学習用テキスト〉をご用意。
2つのシーンそれぞれに合ったテキストで、
子どもたちの「なんで?」「もっと知りたい!」に応えます。



授業 で「出会う」

授業用テキスト「本科教室」

テキスト本文に入る前にある、「学びのひろば」と「学びのとびら」。今回出会う思考技法を紹介する「学びのひろば」と、思考技法と知識を結びつけた「学びのとびら」、この2つのページを通って、子どもたちは学びの世界へと入っていきます。

日能研のテキストはすべてが自社開発。長年のノウハウが活かされています。

日能研の学びで使用するテキストに、「既製」のものはありません。すべてが自社のオリジナル教材。日能研のプロのノウハウを詰め込んだテキストです。

〈授業用テキスト〉では、授業中に感じたこと、考えたこと、子どもたちは自分の中に生まれた言葉をテキストに直接書きこんでいきます。「こんな考え方ができないかな?」「先生のこの話がおもしろかった!」など、授業中の感動を自分の言葉で書きこむ。だから、日能研のテキストには余白が多めに取ってあります。

また、〈家庭学習用テキスト〉には、授業で得た感動を思い起こし、出会ったときには気づかなかったものを改めて発見できる工夫も。学び直しに取り組むときの大切なパートナーです。



テスト で「自分自身を確認する」

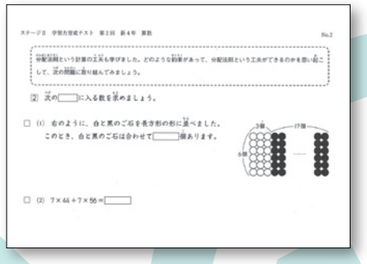


参加者約12,000人!
自分自身の力を試す「全国公開模試」

全国で約12,000人が参加します。過去35年にわたって蓄積されたノウハウと、7万件におよぶ入試データ分析に基づき、信頼性の高い判定結果で憧れの志望校との距離を測ることができます。

学習力育成テスト

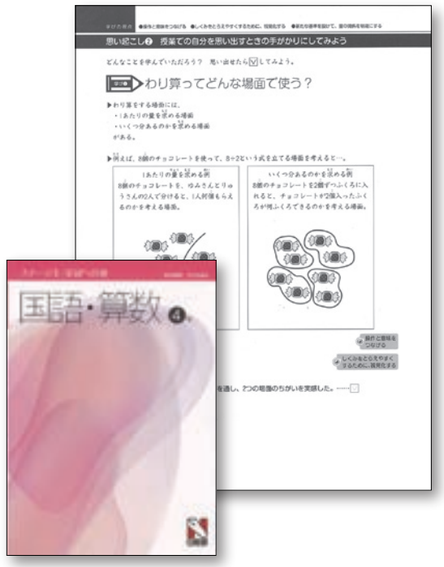
授業での学びと家庭での学び直しで身につけた「自分の学び」を確認する場所、それが「学習力育成テスト」です。成長した新しい自分を実感すると同時に、テスト後のふり返りと合わせて、自分の学びを育てるための道具です。小学3年生から6年生まで通うと、累計約120回、約20,800問の問題に向き合うことができます。



家庭学習 で「学び直す」

家庭学習用テキスト「栄冠への道」

本科教室で扱った内容の類題を掲載。授業や本科教室を思い出しながら、学んだ内容が身についているかを確認できるテキストです。さらに、授業内容をふまえて理解を深められるようなヒントや応用問題も含まれています。



同じ単元が繰り返し登場!

ステージに合わせてレベルアップする 本科教室

本科教室の学習内容は、入試に必要な内容を厳選・再編しています。同じ単元を繰り返し学べるらせん構造の学習プログラムで、4年生で学んだことを5年生で、5年生で学んだことを6年生で、というように少しずつ考え方を変えてレベルアップ。同じ内容を成長に合わせてさまざまな角度から繰り返すことで、無理なく効果的に学べます。

＜例＞

4年生

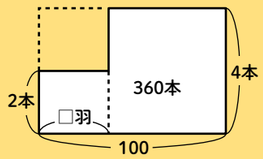
[問題]つるとかめが合わせて6います。足の数の合計が18本あるとき、かめは何匹いますか。下の表を使って考えましょう。

つる(羽)	6	5	4	3	2	1	0
かめ(匹)	0	1	2	3	4	5	6
足の数の合計(本)	12	14	16				

まずは、表を使って規則性を理解するところからスタート

5年生

[面積図の利用]つるとかめが合わせて100いて、つるとかめの足の数の合計が360本であるとき、つるの数を□羽とすると、下のような図をかくことができる。



面積図をもとに式を考えることで、多角的な考え方を習得します

(4×100-360)÷(4-2)=20(羽)…つる
100-20=80(匹)…かめ

6年生

[問題]つるとかめが合わせて30いて、足の数の合計が104本です。かめは何匹いますか。

文章から自分で表や面積図を導き出すことにチャレンジ
学んだことを使う練習をします

実際のテキストの問題とは異なる場合があります。

いつでもどこでも、合格まで徹底サポート！

「データの日能研」が誇る情報提供ツール&システム。

お子さまの「いま」も進路情報も、知りたい情報はすべてMY NICHINOKENにある。

日能研では、35年以上前に中学受験にコンピュータシステムを導入し、以来、豊富な情報とITを駆使した情報力を進化させ続けてきました。

ひとりひとりの習熟度をはかる学習力育成テストや全国公開模試などから得られる膨大なデータ、受験生の動向・入試結果の分析データなど、幅広い情報蓄積と、目的に応じてそれらの情報を開示し、「お子さまの明日に役立つツール」として運用できる能力が、日能研の強みです。



テストは「学力を試すもの」から「学びの道具」へ。

これまでのテストは、学んだことを試したり、学力を測ったりする手段として用いられてきました。しかし、私たちは「テストには、もっとやれることがある」と考えます。

その一つが、テスト後すぐに答案返却を可能にした「電子採点(DI)システム」。○×がつくと、どうしても保護者の方の目はできなかった「×」にいってしまうものです。でも、採点前の答案用紙からは「前よりも記述問題がたくさん書けた」「字がとてもきれいになった」など、保護者の方もこれまでとは違ったお子さまの成長を感じられることでしょう。

テストの採点結果は、翌月曜日にはMY NICHINOKENでチェックできます。全国順位や設問ごとの正答率はもちろん、合格判定テストでは志望校に対する合格可能性もWEB上で確認できるので、次の目標に向けていち早くリスタートすることができます。

中でもMY NICHINOKENは、「データの日能研」が誇る、最先端のデジタルデータ活用サービス。日能研ホームページから個人ページに口グインするだけで、多彩な情報にアクセスすることができます。

テストの結果や成績情報など、保護者の皆さまが気になるお子さまの学びの状況をはじめ、志望校選びにも役立つ学校情報、教室からのお知らせなど、きめ細かい情報をリアルタイムに得られるツールで、毎日の学びをいつでもどこでもサポートいたします。

成績情報



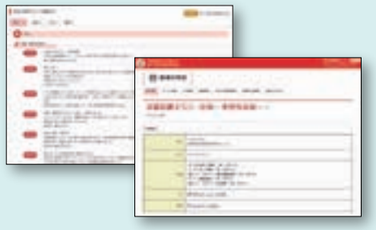
- 受けたテストすべての成績
- アンサーガイド
- 仲間の記述例

学習サポート



- 授業でやったところ
- 分野別正答率
- 分野別難度別問題検索

学校情報



- 各中学校の紹介
- R4偏差値一覧
- イベント情報

入試サポート



- 親と子の栄冠ドラマ
- 合格HOT LINE

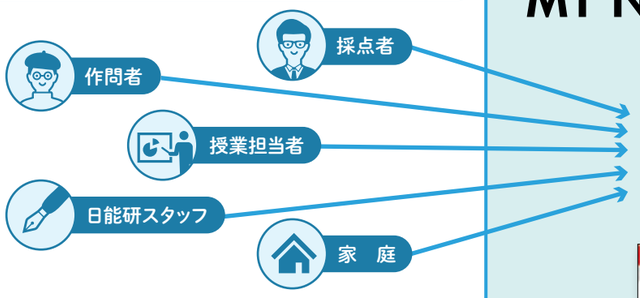
教室からのお知らせ



- 月間/年間スケジュール
- 教室からの発信物
- 栄冠ポイントの確認

学習支援システム(GSS)

たくさんの目で子どもを見守る



「味方がいっぱい」だから子どもたちのやる気もアップ。

答案用紙をデータ化することで、何人もの人が同時に見ることを可能にすれば、子どもたちの"いま"がいっぱい詰まった答案を、本人だけでなく、採点する人、問題を作った人、授業をする人、親子…たくさんの"目"で見つめることができます。すべての人がその子に一番の方法を考えてサポートすることができる学習支援システム。だから子どものやる気を最大限引き出すことができるのです。

MY NICHINOKENで知りたい！あんなこと・こんなこと

＜個人向けWEB情報サービス＞

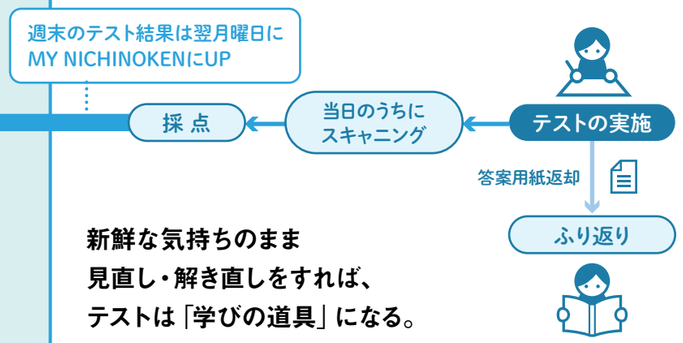
テストの見直し

- 採点結果
- 出題のねらい
- 解説（アンサーガイド）
- 仲間の記述例 など



電子採点(DI)システム

答案用紙はテスト後すぐに返却



新鮮な気持ちのまま見直し・解き直しをすれば、テストは「学びの道具」になる。

答案用紙をその場でスキャニング＝デジタルイメージ化するので、自分の答案用紙はテスト後すぐに持ち帰ることができます。「なぜこう考えたんだろう?」「どうしてこの問題、わからなかったんだろう?」「この問題、気になる!」など、テストに向き合った時の気持ちがはっきりと残っているうちに、子どもたちは自分が書いたばかりの答案用紙を使ってテストの見直しをします。答案用紙の使い方は、子どもたちの自由。満足できない答えを消して新しい答えを書くもよし、テキストを見ながら書けなかった空欄を埋めるもよし、赤ペンで自己採点するもよし。そのとき、テストは「学力を試すもの」から「学びの道具」となるのです。

志望校決定から受験指導まで。全国ネットワークの豊富な情報で強力バックアップ。

有益な情報を必要な時期に提供する多彩なイベントを開催

日能研は現在、全国に約160校を展開。信頼性の高いデータに基づいた情報力で、お子さまの志望校合格と保護者の皆さまの情報収集を全力でバックアップしています。

イベントでは、時期に応じて保護者会や各種講演会を積極的に開催。入試終了後には、「入試結果報告会」や「入試問題研究会」などで一般の方にも情報を開示しています。他にも、志望校選びのための「学校を知る会」など多彩なイベントをご用意し、有益な情報を最適なタイミングでご提供します。



私立中学へ行ってみよう会



最終保護者会

日能研生のみ参加可能なイベントスケジュール（予定）

※日能研の新学年は2月にスタートします。

あこがれの先輩たちをお迎えして中学校生活や受験体験を語ってもらい、6年生のやる気を後押しする特別イベントです。

イベント	時　期	対象学年
新学年開講ガイダンス	2月	3~6年生
入試結果報告会（各教室）	2月	3~6年生
新学年子ども会	2月	3~6年生
春期講習ガイダンス	3月	3~6年生
志望校選定保護者会	5月	6年生
前期学習保護者会	5月~6月	3~5年生
合格のための保護者会	6月·10月·12月	6年生
首都圏受験相談	6月·10月	6年生
関西地区受験相談	7月·11月	6年生
Nフレンズ	7月	6年生
夏期講習ガイダンス	6月~7月	3~6年生
後期開講ガイダンス	8月	3~6年生
後期学習保護者会	10月	3~5年生
最終保護者会	12月	6年生
冬期講習ガイダンス	11月~12月	3~5年生



合格のための保護者会

全国の入試・学校情報も満載！入試情報

東海地区の私立・国立中学の情報はもちろん、全国に展開する日能研の強みを活かしたさまざまな地区（北海道・首都圏・関西・四国・九州エリア）の学校情報や入試対策なども、東海地区の日能研に通いながら入手することができます。

学校案内（東海版）



日能研に通う6年生全員に配布される情報誌です。東海地区の私立・国立中学校と、全国の寮のある私立中学校の入試情報、学校紹介、中学受験の基礎知識、学校選択のポイントなどをわかりやすく編集し、7月に発行しています。

東海つうしん



年4回発行。東海地区の学校情報、入試に向けての学習アドバイスなど役立つ最新情報を発信します。毎回掲載するユニークな学校案内（私立中学シッテQ!）では、独自の取り組みや部活動などを取り上げます。

各学校の入試問題の特徴やねらいについて解説するとともに、合格のために必要な学習方法について詳しく説明します。

中学入試のこれからと学習を考える日能研のビッグイベント。東海地区の本年度の中学入試の概況や入試問題の傾向分析を最新の資料とともにお伝えします。
5月には、低学年の方を対象に、お子さまの体験イベントも加えて開催します。

なぜ、私立中学が人気を集めるのか?どんな環境で学ぶのか?気になる私立中学の魅力を体感する低学年向けのイベントです。各中学の先生方によるパネルトークや見学ツアーなど多彩な内容で、私立中学ならではの魅力を一気に体験していただけます。

関西・首都圏の日能研の担当者がお話しいたします。全国に教室を展開する日能研だからできるイベントです。

中学受験にとどまらず、大学入試や子どもとのコミュニケーションの取り方など、小学生のお子さまを持つ方々に役立つさまざまな講演会を「未来への学びを考える会」として開催しています。

日能研生・一般の方が参加可能なイベントスケジュール（予定）

※日能研の新学年は2月にスタートします。

イベント	時　期	対象学年
県外入試結果報告会	3月	1~6年生
入試問題研究会	3月	1~6年生
オン·ザ·ロード	3月	1~6年生
関西地区·首都圏オン·ザ·ロード	4月	1~6年生
私立中学へ行ってみよう会（春）	5月	1~3年生
全国最難関校入試問題研究会	6月	1~6年生
関西難関私立中学合同相談会	9月	1~6年生
私立中学へ行ってみよう会（秋）	10月	1~3年生
関西地区·首都圏 入試情報説明会	10月	1~6年生
未来への学びを考える会	随時	1~6年生

「今、何をすべきか?」を一緒に考える

個別面談

定期的に個別面談を実施しています（前期·後期にそれぞれ1~2回、クラス·学年別の保護者会を行う場合もあります）。学習力育成テストや全国公開模試の結果など、これまでの成績などをもとに、次の目標達成のために何をすべきか？をクラス担当者が一緒に考えます。

※クラス担当者とお子さまとで面談を実施する場合もあります。

「目指す道」を一緒に考える

受験相談

6年生の受験相談を後期（10月頃）に行います。前期の全国公開模試や学習力育成テストの結果に、9月10月実施の全国公開模試、合格力育成テストなど直近の結果データを踏まえて、志望校、あるいは併願校の選定、受験スケジュール、苦手分野·教科の克服対策などをクラス担当者と行う個別面談です。

※受験相談実施後も、受験校決定まで必要に応じて面談を実施します。

2年生から6年生まで。各学年 の通室スケジュールイメージ

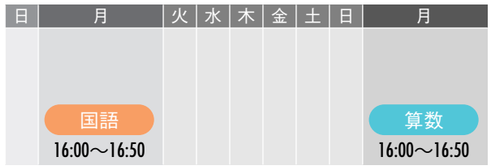
ステージⅠ 出あう

2年生

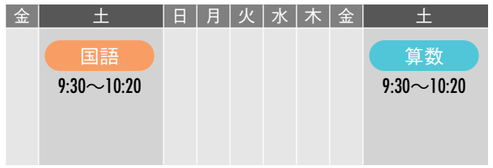
授業日数：1日/週

※教室によって、平日コースか土曜コースか異なります。
※国語と算数を隔週で交互に授業を行います。

●例1：平日コース（月曜 16:00〜16:50）の場合



●例2：土曜コースの場合



ステージⅠ 出会う

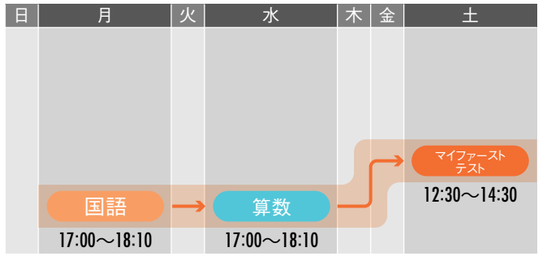
3年生

授業日数：1日or2日/週

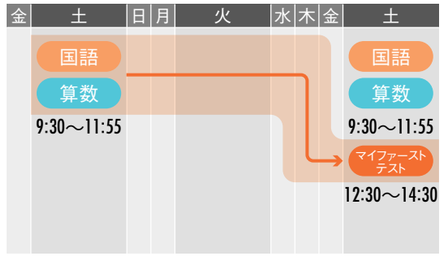
テスト：毎月1回土曜日

教室によって、2教科週1通室、2教科週2通室を選択できます。

●例1：2教科週2通室の場合



●例2：2教科週1通室の場合



■ マイファーストテスト出題範囲　国語・算数の過去1か月分の授業内容。ただし、テスト当日の授業内容は次回のテスト範囲となります。

ステージⅡ 親しむ
ステージⅢ 広げる

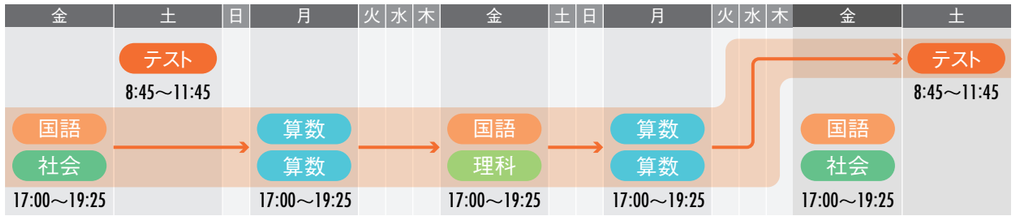
4年生

学習サイクル：2週間

授業日数：2日/週

テスト：隔週土曜日

●週間スケジュールの例（Mクラス Aクラス）



■ テスト出題範囲　過去2週間の授業内容。ただし、テスト前日の授業内容は次回のテスト範囲となります。

※社会と理科は隔週で交互に授業を行います。

授業は1コマ70分です。（2年生は50分です）

※時間割・テストの時間は各教室で異なります。
※それぞれのクラス分けについては、一定の基準を設けています。詳しくは各教室までお問い合わせください。
※小学校の行事などの都合により、各テストは別の日程・時間帯で受験することができます。

各教室の時間割はコチラから

ステージⅢ 広げる
ステージⅣ 深める

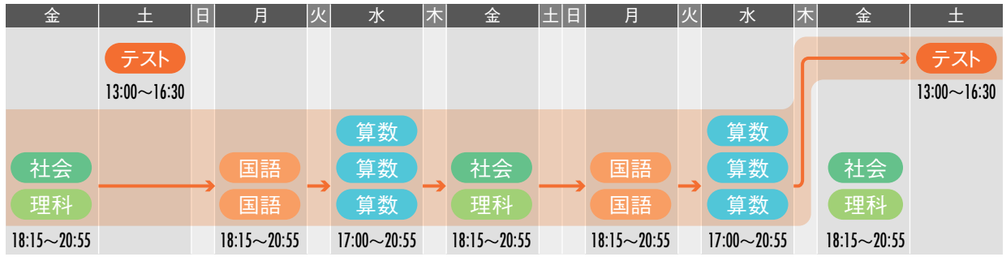
5年生

学習サイクル：2週間

授業日数：3日/週

テスト：隔週土曜日

●週間スケジュールの例（Mクラス Aクラス）



■ テスト出題範囲　過去2週間の授業内容。ただし、テスト前日の授業内容は次回のテスト範囲となります。

ステージⅣ 深める
ステージⅤ 鍛える

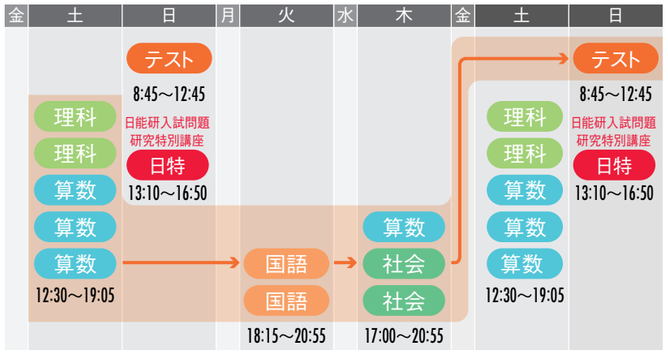
6年生

学習サイクル：1週間

授業日数：3日/週

テスト：毎週日曜日

●週間スケジュールの例（Mクラス Aクラス）



■ テスト出題範囲　過去1週間の授業内容。ただし、テスト前日の授業内容は次回のテスト範囲となります。

日特

日能研入試問題研究特別講座

各学校で出題された実際の入試問題を素材として、問題を読み取る力や知識を運用する力を鍛える講座です。

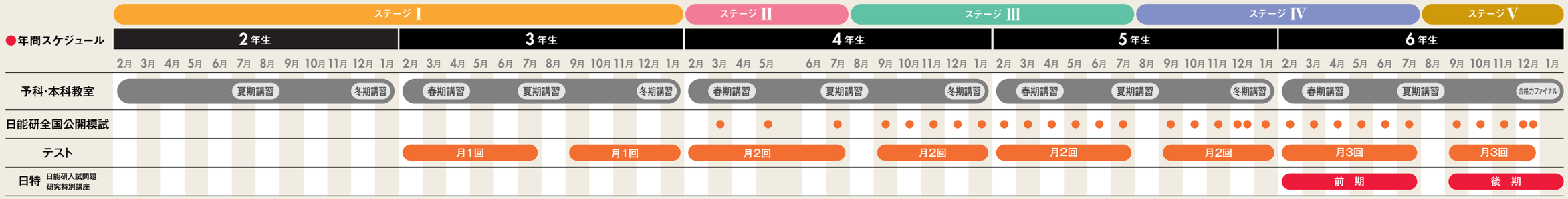
前期 学力別クラス編成
後期 志望校別クラス編成

場所（予定）	名駅校・金山校・千種校・御器所校・本山校
教科	国語・算数・社会・理科
授業時間	前期・後期：105分×2コマ

※日能研入試問題研究特別講座は原則必修受講となります。



●年間スケジュール



※2・3年生は、年に5回「日能研全国テスト」もご受験いただきます。

行きも帰りも安全に

通室時の安心対策を徹底。

安心して教室に通うために、日能研ができること。
子どもたちを守る安心・安全対策の取り組みをご紹介します。



入退室をお知らせ「Nパス」

正会員証をセンサーにかざすだけで、登録した保護者の方のメールアドレスへ入退室をリアルタイムでお知らせします。



警察OBが見守るNセキュリティ

各教室を警察OBが巡回し、通室時の最寄り駅から教室までの安全確認や子どもたちへの防犯指導にあたります。

N生のトレードマーク！



Nバッグ&Nブザー

NバッグのN字部分には、光る反射材を採用。ライトが当たると浮き上がって見え、ドライバーに注意を促します。また、全員に配布するNバッグの形をした防犯ブザーは、バッグの肩ひもに装着でき、万が一のときの操作のしやすさにも配慮した設計になっています。



オンラインでのサポート。



欠席した時も安心！授業動画

本科・予科教室各回の授業動画を
MY NICHINOKENでご覧いただけます。



ICTを利用した情報提供

保護者会の動画を MY NICHINOKEN で配信したり、面談をオンラインで実施したりしています。

入会手続きのご案内

まずは「全国テスト」または「入会資格テスト」で
今のお子さまの実力を知ることから始めてみませんか？

1 入会テスト

春や秋に行う日能研の「全国テスト（無料）」や、随時行う「入会資格テスト（無料）」を受験してください。原則、国語・算数のテストです。出題範囲は、テスト実施の少し前までに小学校で学習した範囲になります。また「日能研全国公開模試」の結果で入会いただくことも可能です。

※Zクラスを希望する場合は、「全国テスト」で基準を超えたうえで「Zクラス認定テスト」を受験していただきます。（千種校実施）
※入会資格テストのお申し込みは、入会希望の教室までお問い合わせください。その際に、テストの日時をご相談ください。

▲詳細はコチラ

2 入会資格

テストの成績によりどのクラスに入会できるかをお知らせいたします。成績によっては入会をお断りすることがあります。

※「日能研全国公開模試」のみを受験された方は、入会希望の教室へ成績（偏差値）のわかるものをご持参ください。ただし、成績によっては入会できない場合もあります。また、期間の空いた模試の成績では入会できません。その場合は入会資格テストのご案内をさせていただきます。

3 （体験授業）

春や秋に行う全国テストでは、テスト前後に体験授業を行っていますのでご参加ください。また、通常の授業の見学や体験については、教室の定員などでご希望に添えない場合もありますが、各教室にご相談ください。

4 入会手続き

入会資格についてのご案内に記載された期日までに入会希望の教室で入会手続きをしてください。電話あるいは、直接教室へお越しください。授業開始までのご案内やガイダンスなどについてもその時にご案内させていただきます。

5 入会・授業開始

ようこそ日能研へ！

いよいよ授業スタートです。到着したら、初日は日能研スタッフまでお声がけください。教室までご案内します。授業には、事前にガイダンスでお渡しするテキストや、科目ごとのノート、筆記用具をお持ちください。

